

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習



はむらの 教育

第22回 羽村市地域教育シンポジウム

子どもの気持ち・大人の気持ち ～身近な決まりごとについて～



令和2年1月に行われた「第22回 羽村市地域教育シンポジウム」の様子です。
今回は身近な決まりごとについて、子どもと大人それぞれが自分の気持ちを発表し合い、活発な意見交換が行われました。

市内の全ての中学校で 特別支援教室「はばたき教室」が スタートしました！！



※羽村一中・羽村三中の生徒は、自校で指導を受けます。

拠点校から巡回指導教員が巡回して指導・支援を行います。

平成31年4月から羽村市内の全ての中学校において特別支援教室がスタートしました。

特別支援教室とは、通常の学級に在籍し、知的発達に遅れのない発達障害等（自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害等）があつて、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導・支援を必要とする児童・生徒に対し障害による学習上又は生活上の困難さの改善・克服を図るための制度です。

羽村市ではこの教室の通称を「**はばたき教室**」としています。

今回、この制度がスタートしたことにより、別の学校（通級指導学級）に行かずに在籍校において必要な指導・支援を受けられるようになりました。羽村第二中学校では、週4日、発達障害教育を担当する羽村第二中学校の教員が巡回して指導を行っています。

羽村第二中学校「はばたき教室」の1日

放課後	6校時	5校時	昼休み	4校時	3校時	2校時	1校時	朝の時間	生徒
	通常授業 (例・英語科)	通常授業 (例・保健体育科)		通常授業 (例・社会科)	「はばたき教室」へ	通常授業 (例・国語科)	通常授業 (例・理科)	「はばたき教室」の指導時間以外は在籍学級で勉強します。	学級活動 読書活動
連絡ノートにて「はばたき教室」で行った指導・支援の内容を保護者に伝えます。また、「はばたき教室」指導時間に、在籍学級で授業した黒板をデジタルカメラで撮影をし、それを印刷して生徒に渡します。	学級担任等と連絡・相談	在籍学級へ教室支援		「はばたき教室」生徒からの相談等	個別指導 (自立活動) 小集団指導 (自立活動)	個別指導 (自立活動)	打合せ 授業準備	特別支援教室「はばたき教室」	
		巡回指導教員は、指導・支援を受けている生徒だけではなく、学級全体の様子も把握します。			「はばたき教室」での指導は1人あたり週1～2時間程度となります。週時程の中の決まった曜日決まった時間に「はばたき教室」に移動して指導を受けます。			（拠点校から来た巡回指導教員は一日巡回校に勤務します）	

♪教育相談部会（週1回）

羽村第二中学校では、週に1回、管理職、各学年の代表教員、養護教諭、特別支援教育コーディネーター、巡回指導教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が参加し、在籍学級における指導の内容や校内支援体制及び関係機関との連携などについて話し合いをしています。

そのことにより、支援を受けている生徒たちの様子を全員で把握し、どの教室でも、どの教科の先生でも同じような支援ができるようにしています。



♪巡回指導教員打合せ（週1回）

週1回、羽村第二中学校・羽村第二中学校を担当する巡回指導教員が集まり、指導対象の生徒について情報共有を行います。

また、月1回、その打ち合わせの席に、東京都から派遣される巡回心理士も出席し、専門的な観点から効果的な支援を考えます。



特別支援教室実施により期待される効果

- ・児童・生徒の学び方の向上や在籍学級における集団適応能力を伸ばせる。
- ・特別な指導・支援を在籍校で受けられる。
- ・在籍学級の担任と巡回指導教員との連携が密になり、指導の内容が充実される。
- ・特別な指導や支援が身近に行われることで、在籍校の教職員や他の児童・生徒も支援の内容を知る機会が増え、特別支援教育への理解につながる。

【問合せ】 教育支援課特別支援教育係（内線359）

不登校、登校しぶり等で
困ったら・・・

「教育相談室」
「学校適応指導教室ハーモニースクール・はむら」へ
ご相談ください！

生活リズムの確立を図ることで学校復帰に備え、学習活動のほか、読書タイムや外国語指導助手（ALT）による英語授業も行っています。



ALTの授業風景

♪小集団での授業
1日4時間の学習時間を設定し、小集団での指導を行っています。児童・生徒の通室時間に柔軟に対応できるように、緩やかな時間割で対応しています。

♪ハーモニースクール・はむらって？
さまざまな理由により、学校に行きたくても行けない小学生や中学生を対象に、学校復帰へのお手伝いをする教室です。
ここでは、学習指導や体験的活動をとおして、児童・生徒の居場所づくりと登校支援を行っています。



学校復帰

家庭

相談
(学校・教育相談室)

小集団

集団
体験的活動

♪相談・個別面談
学校への相談の他、教育相談員との相談、学校適応指導教室指導員との面談を定期的を実施し、学校復帰を支援します。

♪校外学習
地域に対する理解と関心を深めるため、中学生が中心となり、小学生と一緒に事前学習やしおり作りを行い、地域施設へ皆で見学に行き、勉強しています。



青梅市「釜の淵公園」へ向かう道中

♪スポーツレクリエーション
運動不足になりがちな身体を広い体育館で動かし、体力の維持向上と通室生同士のコミュニケーションの場として楽しんでいます。



ブラインドサッカー体験

・・・教育相談室とは・・・

ハーモニースクール・はむらと併設している教育相談室では、不登校等の相談以外にも、悩み事のあるお子さん自身や、お子さんの教育や学習についての悩みをおもちの保護者の方に対して、相談員と一緒に考え、解決の糸口を探すお手伝いをします。必要に応じて、プレイセラピーや心理検査等も行い、専門の立場から相談にも応じています。



羽村市教育相談室

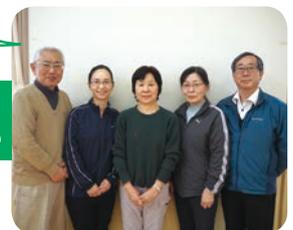
羽村市羽東 2-12-2 ☎ 554-1223
月曜～金曜（祝祭日除く）
午前9時～午後6時

私たちが学校復帰をサポートします!!
ハーモニースクール・はむらのスタッフ

お気軽にご相談ください！

学校適応指導教室
ハーモニースクール・はむら

月曜～金曜（祝祭日除く）
午前9時5分～午後3時15分



「いじめられている」「友達とのトラブル」など、先生や親には相談できない悩み事があったら、まずはお電話ください。専門の相談員が、一緒に考えます。

1人で抱え込まないで！子ども専用ダイヤル
子どもの悩み 110番 ☎ 554-1306



生涯学習センターゆとりぎからのお知らせ

Let's Check!「学習情報コーナー」

ゆとりぎでは、訪れる方に多くの生涯学習情報を提供するため、1階に「学習情報コーナー」を設置し、さまざまなチラシ・ポスターを掲示しています。掲示されている情報の主な内容は、次のとおりです。

- ◆市や市教育委員会がゆとりぎや他の施設で行う事業の情報
- ◆市内外の団体や個人がゆとりぎを利用して行うイベントの情報
- ◆主にゆとりぎで活動している団体やサークルの会員募集情報
- ◆他のホールや会館等で行われるイベントの情報

この他にも、連携協定を締結している杏林大学との事業の紹介など、さまざまな生涯学習の情報を掲示しています。ご来館の際には、ぜひ、チェックしてみてください。また、掲示したいチラシ・ポスターがありましたら、ゆとりぎ窓口までお問い合わせください。



▲学習情報コーナー

キャッシュレス社会を学ぶ

12月22日(日)、講座室1にて「ゆとりぎ協働事業運営市民の会 学習文化部会」の企画・運営による講座「キャッシュレス社会」カードのちがいと使い方を学ぶ」を開催しました。



▲キャッシュレス講座の様子

杏林大学より大川昌利教授(総合政策学部長)をお招きし、キャッシュカード、クレジットカード、デビットカード、電子マネーなど、キャッシュレス決済の種類や違いなどについてお話いただいたほか、日本銀行に勤めていた講師の体験から、貨幣や銀行口座との関連についてお話いただきました。

参加者は興味深そうに講師の話に聞き入り、カードの種類と仕組み、安全性、利用時の注意点が良く分かった、「カードが現金と預金に結びついているという事がよく分かりました」など、キャッシュレス社会について理解を深めていました。

【問合せ】生涯学習センターゆとりぎ

☎570-0707

郷土博物館からのピックアップ

郷土博物館にはこんな資料もあります

江戸・明治時代の旅の記録

当館では、江戸時代末期～明治時代初頭の旅道中の金銭出納帳や、旅籠への宿泊料の領収書、日記など、旅に関する資料を所蔵しています。江戸時代は、庶民の間で旅が流行した時代でした。おもな目的地は伊勢の神宮や讃岐の金毘羅、大権現(金刀比羅宮)、信州の善光寺、日光の東照宮など有名な社寺です。当時、娯楽を目的とした旅は基本的に制限されていましたが、社寺への参詣のためといえれば許可されやすかったです。

羽村の人々も、伊勢や讃岐まではるばる参詣の旅に出ています。資料を見ると、往復でどんなルートを通ったのか、何を見物したのか、何にお金を使ったのか等、色々なことがわかります。道中で名所旧跡や温泉なども堪能しながら、1か月～2か月くらいかけて旅をしていたようです。自動車も鉄道もない時代に、徒歩でこれほどの長旅を達成していたことに驚かされます。

道中の記録について、羽村市郷土博物館紀要第34号で紹介しているのので、より詳しくはそちらをご覧ください。



【問合せ】郷土博物館 ☎558-2561

一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぽ

体力・健康の増進に向けた

さまざまな取り組みを行っています

平成20年に設立された、「はむら総合型スポーツクラブ」は、地域住民が主体となって運営されているスポーツクラブです。平成29年に法人化され、「一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぽ」となりました。スポーツ・レクリエーション活動を通して、誰もが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」楽しく体を動かし、健康で豊かな「人づくり」「仲間づくり」「まちづくり」を目指しています。令和2年度の主なプログラムを紹介しますので、ぜひご参加ください。

【主なプログラム】

- 1 ポケモン体操クラブ
 - 2 西多摩ジュニア体操クラブ
 - 3 できるスポーツでさすぽ！
 - 4 テニス事業(小学生〜シニア)
 - 5 ハワイアンフラ
 - 6 ヨガ事業 (初めてのヨガ・リラックスイヨガ)
 - 7 スポーツウエルネス吹矢
 - 8 シニア向け筋力アップクラス
- ※詳しくは一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぽの公式ホームページをご覧ください。



【問合せ】 スポーツセンター

☎555-0033

図書館からのお知らせ

☆図書館の分室・図書室をご存じですか？

図書館には生涯学習センターゆとろぎの向かいにある本館のほかに、加美・富士見平・川崎の三つの分室と小作台図書室があります。分室では主に児童書を、小作台図書室では児童書の他一般書など様々な本を置いています。また、分室・図書室には子育て支援に関する本や大活字本など大人のための資料も置いています。

【分室】

開室日・開室時間：火・金 午前10時〜午後2時 水・土 午後1時〜5時

加美分室 羽加美3-10-12 (加美会館1階) ☎554-0130

富士見平分室 富士見平1-18 ☎555-5301

川崎分室 川崎4-2-4 ☎554-7225

【小作台図書室】

開室日・開室時間：火・土 午後1時〜5時・日 午前10時〜午後5時
小作台5-6-4
(小作台西会館内)
☎579-1523



▲川崎分室 (開室時は旗が立っています)

☆本館に来られない方は、分室・図書室で本の返却や借りたい本を受け取ることが出来ます

本館は自宅から遠いという方は、分室と小作台図書室でも貸出・返却をすることが出来ますので、ぜひご利用ください。分室にはない本を借りたい時には、資料の予約をしてください。受取館を最寄りの分室や図書室にしておく、資料の用意ができたときに、お近くの分室・図書室でその資料を受け取ることが出来ます。

☆分室・図書室のおはなし会もあります

小作台図書室では年3回、分室ではミニおはなし会やよみきかせなどを毎月実施しています。ぜひ分室・図書室にお越しください。

詳細は、図書館へお問い合わせください。

【問合せ】 図書館

☎554-2280



▲川崎分室内



松林小学校は、人権教育を根幹とした教育活動の推進の取組みが評価され、令和2年2月13日、東京都教育委員会より、学校・グループ部門で表彰されました。

平成29・30年度に「人権尊重教育推進校」として、校長のリーダーシップの下、「自己を大切にしながら意欲的に関わり合う児童の育成」をテーマに、異年齢集団での様々な活動、地域との交流等を通して人権課題を取り上げた実践を積み重ねるとともに、その取組みは、「人権教育プログラム」等を通して、広く都内の公立学校の模範となりました。

また、自校の取組みにとどまらず、近隣の都立羽村高等学校や都立羽村特別支援学校とも密接に連携しながら取組みを進めるなど、地域の人権教育の推進に大きく貢献したことが評価されたものです。

【問合せ】

学校教育課教職員係
(内線374)

中学校部活動の活躍について

部活動における中学生の活躍をお知らせします。中学校の部活動は、生徒同士や生徒と教員等との交流の中で、生徒の多様な学びの場として、生徒の成長につながっています。

各学校における部活動の中で、今年度、運動部、文化部ともに、優秀な成績を収めた部活動について、主なものを紹介します。

【主な成績】

○羽村第一中学校

部活動名	大会名等	出場者
吹奏楽部	第67回全日本吹奏楽コンクール 銀賞 (5年連続出場)	吹奏楽部
	第59回東京都吹奏楽コンクール 金賞	

○羽村第二中学校

部活動名	大会名等	出場者
卓球部	第47回関東中学校卓球大会 団体戦	卓球部 (女子8名)
剣道部	第44回関東中学校剣道大会 団体戦	剣道部 (男子7名)

○羽村第三中学校

部活動名	大会名等	出場者
女子ソフトテニス部	第50回全国中学校ソフトテニス大会 個人戦出場 (ベスト16)	三澤 春花 (3年) 高島 萌果 (3年)
	第49回関東中学校ソフトテニス大会 個人戦 (第3位)	
	第69回東京都中学校ソフトテニス選手権大会 個人戦 優勝	ソフトテニス部 (女子8名)
	第49回関東中学校ソフトテニス大会 女子団体戦	
	第69回東京都中学校ソフトテニス選手権大会 女子団体戦 (第3位)	
吹奏楽部	第59回東京都中学校吹奏楽コンクール東日本部門 金賞 (6年連続)	吹奏楽部

※敬称略

【問合せ】学校教育課指導係 (内線376)

令和元年度の学力調査 (国・都) の結果をお知らせします

■全国調査結果概要*1

【対象：小6・中3】

平均正答率 (%)

学校	教科	羽村市	全国
小学校	国語	59	63.8
	算数	64	66.6
中学校	国語	73	72.8
	数学	58	59.8
	英語	58	56.0

■東京都調査結果概要*2

【対象：小5・中2】

平均正答率 (%)

学校	教科	羽村市	東京都
小学校	国語	62.0	67.0
	社会	63.9	66.3
	算数	53.8	60.0
	理科	52.3	56.6
中学校	国語	68.7	71.9
	社会	48.4	51.1
	数学	52.1	54.5
	理科	49.1	49.5
	英語	58.8	57.5

*1「全国学力・学習状況調査」(平成31年4月18日)

※全国のみ小数点以下の数値が公表されています。

*2「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(令和元年7月4日)

羽村市の小・中学校では、一部の教科を除き、全国や東京都の平均正答率に届いていない結果となっています。また、各教科の解答を分析すると小・中学校ともに、基礎的・基本的な学習内容へのつまづきが見られます。

このことを改善するために、基礎的・基本的な学習内容の繰り返し学習を各学校でより徹底するなどして、学力の定着を図る指導の充実を図ります。また、併せて思考力、判断力、表現力などを育成するために問題解決的な学習を充実させるべく、授業改善や研修を推進していきます。

【問合せ】学校教育課指導係 (内線376)

第22回羽村市地域教育シンポジウムを開催しました!

小学生・中学生・大人が意見交換する地域教育シンポジウムを1月18日(土)に生涯学習センターゆとろぎで開催し、206人(子ども80人・大人126人)の参加がありました。

今回は「子どもの気持ち・大人の気持ち〜身近な決まりごとについて〜」をテーマに、大人と子どもが意見を交換しました。

シンポジウムは二部構成で、第一部では羽村第一中学校・都立羽村高等学校の演劇部の皆さんと



▲第一部では中・高校生演劇部による寸劇が行われました。



▲第二部では寸劇の内容について子どもと大人がグループ討議をします



▲それぞれのグループで討議したことを全体会で発表し、共有しました

実行委員会委員有志の合同によるテーマに沿った寸劇を鑑賞し、第二部では小学生と中学生に分かれて、寸劇の内容を題材にしたグループ討議を行った後、全体会として各グループの意見発表、参加者全員によるテーマについての、意見交換を行いました。

子どもたちは活発に手を挙げて意見発表するなど、とても積極的に参加をしていました。

【参加した児童・生徒の感想】

- ・ 親ときちんと話し合うことが大事だと改めて思った。(小学6年生)
- ・ 中学生、高校生、大人の意見を聞く機会や、様々な人と意見を交わす体験ができて良かった。(小学6年生)
- ・ 初めて会う人たちの前で、自分の意見を言えた。(小学6年生)
- ・ 自分と違う意見を聞くうちに、新しい考えが見つかった。(中学2年生)

【問合せ】 生涯学習総務課生涯学習推進係 (内線363)

教育随想

内閣府の調査によると、日本の若者は、諸外国と比較して「自己肯定感」が低いといわれています。アメリカ、フランス、ドイツなどでは、「自分に満足している」と回答した割合が80%を超えているのに対し、日本は、45%という結果でした。全国学力・学習状況調査による「自分にはよいところがある」と肯定的に捉えた市内の小学校の平均割合は、国の平均が81・3%に対し、77・2%と少し低い結果となっています。

「自己肯定感」とは、自分の価値や存在意義を肯定し、自分を積極的に評価する感情のことです。

子どもたちも、自分を肯定的に捉えることで、物事を前向きに考え、意欲的に学習や部活動などに取り組む力が湧いてきます。生きていくうえで、極めて大切な感情です。

しかし、日々の生活の中でいつも叱られてばかりいたら、子どもたちは自己肯定感をもつことができません。家庭では、子どもの欠点を指摘し、叱るだけでなく、それ以上に、良い点を認め、褒めてあげてください。

市内の小・中学校でも、児童・生徒の自己肯定感を醸成する教育、指導に取り組んでいます。4月から始まる新しい学習指導要領では、「生きる力」を育むことを教育の目標としています。自分を肯定し、自信をもって未来を生きていく子どもたちを育てていきたいと考えています。



教育長
桜沢 修

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

特定非営利活動法人

羽村市体育協会

TEL 555-1698

第51回羽村市総合体育大会総合開会式 & 第73回都民体育大会羽村市結団式

【日時】 4月4日(土)午後7時～

【場所】 スポーツセンター第1ホール

【内容】 優勝杯返還、選手宣誓、デモンストレーションなど

※見学は自由です。(室内履きを持参してください)

羽村市総合体育大会は、陸上や柔道、ソフトテニスなど24種目の競技で羽村市のナンバー1を競い合います。

都民体育大会では、羽村市の代表が、他の区市町村の代表と東京都ナンバー1を目指して競い合います。



羽村市文化協会

TEL 579-12772

日頃より文化協会活動にご協力ご支援ありがとうございます。

昨年の文化祭では前回に続きゆとろぎオペラ「カルメン」を公演。羽村ゆかりのソリストと公募した市民合唱団「ゆとろぎオペラ合唱団」とが一体となり、素晴らしい舞台を創り、会場一杯のお客様の拍手が鳴り止まず、ロビーでも出演者と観客が感激を分かち合い余韻を楽しんでおりました。

令和元年度 文化協会活動実績

○第14回羽村市美術・工芸展

4月～6月に5期に亘りゆとろぎ展示室実施 絵画、書道・篆刻、写真、陶芸など

○ゆとろぎサロンコンサート(年6回)

民謡とピアノのコラボ、講談、ハワイアンバンド、マリンバ演奏、ラテンギター、初春邦楽のしらべ(詩吟と書道吟、南京玉すだれ、かっぱれ)

○第50回記念羽村市文化祭運営企画、ゆとろぎオペラ「カルメン」実施

○北杜市文化祭出演および視察交流、鑑賞研修旅行実施

○羽村市文化協会15周年記念事業

第13回はむら音楽祭「邦楽の集い」ゆとろぎ大ホールで実施
令和2年度もふれあいを大切に、体験教室などを開催し、すそのから羽村の芸術・文化振興と循環型生涯学習の推進を図ります。

●羽村市文化協会15周年記念事業「華展」 4月3日(金)～5日(日)

●第15回羽村市美術・工芸展 5月5日(火・祝)～6月21日(日)まで

5期 絵画、書道、写真、陶芸等。特別企画「はむらを撮る・描く」

6月23日(火)～28日(日)を含め開催します。

●懇親会、第81回サロンコンサート「ハーブの調べ」 5月9日(土)正午～

INFORMATION

羽村市役所 (代表) Tel 555-1111

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室	Tel 554-1331
				ハーモニースクールはむら	